

外房線 車両破損事故 に対し17~19日抗議の減産闘争実施



79.12.17 No. 301

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
電話 二二五八・九(公衆電話) 七二〇七

職場を軸に、反合・運転保安闘争の前進を

12月12日4時57分、外房線蘇我ー鎌取間において、オ二二三1列車(吉野信重運転士・勝浦支部)が工事用の枕材運搬車と衝突し、列車前頭部を破損するという運転事故が発生した。

勤労千葉は、折からオ三回定期大会の開催中ではあったが、本件事故を重要視する中で、関係支部・乗務員からの事情聴取を行う一方、本部独自の調査活動を展開し、同時に千葉当局に対し関係支部も含め抗議交渉の実施を強く申し入れた。

運転保安無視ー重大事故に つながる危険性！

勝浦支部との連携をもちつつ独自調査を実施したところ、同区間では前日終列車から当日初列車までの間合を利用して線路閉鎖をし道床交換作業が行なわれ、作業中使用した枕材運搬車遺留したまま線路閉鎖を解除したこと、さらに驚くべきことに、施設関係の作業用車両は、大半がレールと車両の絶縁が施されており「乗務員が進行信号を確認して走行し、この間にも枕材運搬車、同区間内へ支障物が、しかも工事用車両などというものが存在しているにもかかわらず、これを何ら予告、警告することが、枕構的にも、システム的にも出来ないうことなどが判明した。

直ちに抗議交渉！ー当局の運転保安無視の姿勢に対し、自衛手段通告

大会終了後の12月13日、組合側の独自調査に基づき、関係支部代表の参加する中で、抗議の運転保安交渉を行った。その結果、前述したような危険性と、くわえて保線関係の合理化によって外注化が進む中で、「線路補修工事の実態」が安全作業、運転保安上極めて問題のある現実が浮き彫りにされてきた。即ち、当夜の作業のみならずほとんどの線路補修作業は昼ダイヤの過密化のため全くの深夜の短時間帯での突貫作業に迫り、また始発電車の動き出す以前に信号、ポイントその他複雑に連動する諸枕構に

運転保安確立を要求し、抗議の減産闘争・安全運転闘争を決定！

本部闘争委員会は、以上の経緯に踏まえ、運転保安無視の国鉄当局に対し猛省と対策を求め、運転保安確立の更なる前進を期して減産闘争の実施を決定し指令した。

勤労千葉闘争指令オ1号 12/15

1. 全支部は、12月17日始発時より12月19日24時まで、全乗務員を対象とする減産闘争(A行動)を実施すること。線路危険箇所指定は次のとおりとし、制限速度は45km/h以下とする。

線区	指定箇所
総武本線	西千葉ー新検見川 都賀ー四街道 成東ー日向、八日市場ー飯倉
成田線	布佐ー新木、東我孫子ー湖北
我孫子線	成田ー久住、佐原ー香取
外房線	土気ー菅田、菅田ー鎌取
内房線	大簗ー青堀、岩井ー富浦
鹿島線	全線
東金線	全線
木原線	全線
久留里線	木更津ー久留里

2. 当局の対応によっては戦術強化も想定されるので全支部は、その体制の万全を期すること。